

『みんなの笑顔のために』

「先生、日本のこどもはかわいそう。日本はものがあふれていて、感動する心を失くしている。」

この言葉は、私が教員になってはじめて担任をもったときの生徒が、私に伝えた内容です。

その生徒は中学校を卒業後、海上術科学学校（自衛隊）に進学。3年後にその学校を卒業後、ワーキングホリデービザを利用し、諸外国への旅に出発しました。久しぶりに日本に帰ってきたとき、私を訪ねて来てくれました。内戦が起きている国では、宿舎のすぐそばで爆弾の音がしていたこと。エジプトのピラミッドに登ろうとしたことなど、興味深い話をたくさんしてくれました。そのとき、その教え子が私に話してくれたのが、この言葉なのです。

こんな話をしてくれました。当時、「発展途上国」と言われていた国での話です。あるとき、その教え子がテーブルの上に小銭を置いていたら、そのお金を盗もうとしたまだ小学生ぐらいの子がいたそうです。その子に、なぜそのようなことをしたのか聞いたところ、その子は「妹に教科書を買ってやりたいんだ。」と答えました。教え子は、予想もしていなかったその言葉に感動はしたものの、お金はしっかり取り返したそうです。教え子はそんな子どもたちに、紙飛行機をつくってあげました。するととても喜び、子どもたちはその紙飛行機をととても大切に扱いながら、朝から夕方まで一日中遊んだそうです。その子どもたちにとっては、紙1枚も貴重なものなのです。教え子は、紙飛行機一つでこんなに感動し、よろこぶ子どもたちと日本の子どもたちを比べたのですね。

以前勤務した学校で、学校から配布したプリントや自分のノートを紙飛行機にしてベランダから外に飛ばしてあるのを発見したことがあります。とても悲しくなりました。

先人の努力によって、すべての子供たちに毎年真新しい教科書が配布され、たくさんの教材を使って勉強ができることが当たり前になっている日本。本当にありがたいことだと感じますが、物を大切にす

る心、感動する心、感謝する心。私たちが忘れていないものはないでしょうか。

話は変わりますが・・・

その教え子に私から質問してみました。

井上：「色々な国をまわってきたみたいだけど、言葉には困らなかった？コミュニケーションはどうしていたの？」

教え子：「先生、どんな国でも英語が話せれば何とかできますよ。」

井上：「なるほど・・・」

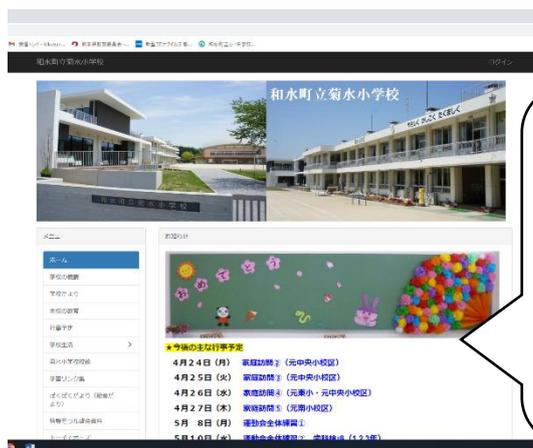
英語は大切なのですね。皆さんもしっかり勉強しておいてください。自分の世界が広がるはずですよ。



学校ホームページ

URL : <https://es.higo.ed.jp/kikusui/>

QRコード



大切なお知らせや行事予定、毎日の給食や子供たちの活動の様子など随時掲載しています。是非、ご覧ください。